

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
E-mail address yo\_sosiki@tokyo-kinikai.com
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

参加し学んで意識変わった
同年代へ平和学校を広めていきたい

東京民医連
平和学校

青年職員2人卒業



2013年4月からの1年間、毎月1回土曜日を中心に2班にわかれて学んだ11人。ともに平和に関する講演を聞き、平和が脅かされている現場に足を運び、議論を重ねてきました。1年間の集大成となる卒業発表を終え、卒業証書を誇らしげにかかげています。(前列左から2番目が吉川さん、後列右から3番目が小倉さん)

「平和のバトンを受け取った」。東京大空襲を語り継ぐ早乙女勝元さんの講演(2013年5月)について、吉川さんは思いを述べました。そして2013年10月の健康まつりでは、早乙女さんを招き多くの来場者に講演してもらいました。

冷静に考え班内で大切な役割を果たした小倉さんは、「様々な政策について理解したい」と意欲を示しました。平和学校は平和活動を推進し次代を担う後継者育成のため2012年より開始。2013年度の

命と健康を破壊する戦争に「反対」、核兵器を無くし、平和と環境を守るとあります。各法人・事業所に戻った卒業生が綱領を理解し医療と平和の関係を継承・発展させていくことを期待します。

東京民医連主催の「第2回 平和学校」(2013年4月20日開校)には代々木病院から保健師・小倉由佳さんと、診療放射線技師・吉川彰人さんが参加。1年間、講演やフィールドワークを通じて学び、話し合い、その成果を2014年1月18日、東京民医連で卒業発表しました。



佐世保では軍港の現実を実感

平和学校のような学びの場に参加することは初めてで、参加当初は緊張しましたが、多くの方と交流をもつことができた。これは貴重な体験でした。



貴重な体験を学べました
小倉由佳(保健師)

たとえば、実際に反原発運動に参加している方は、平和活動に対してそ

や原爆の被害にあった方、基地問題に取り組んでいる方、弁護士として生活保護受給者の支援をしている方など様々です。各分野の有識者の方々から、普段は学ぶ機会のない問題を教えてもらい、考えるきっかけになりました。

- 各クールの開催日時と内容
第1クール2013年4月20日開講式、講演
講師 新垣 潔 氏(沖縄民医連)
テーマ: 民医連と平和活動
第2クール2013年5月18日東京大空襲・戦災資料センターの見学、講演
講師 早乙女 勝元 氏(同センター)
テーマ: 東京大空襲から歴史を学ぶ
第3クール2013年6月15日講演
講師 内藤 功 氏(日本平和委員会・代表理事、内藤法律事務所・弁護士)
テーマ: 日米安保条約 その歴史と現状
第4クール2013年7月20日講演
講師 高草木 博 氏(原水禁禁止日本協議会・代表理事)
テーマ: 平和をめぐる動きと私たちの課題~世界の流れ、世界の中の日本、NP Tのこと~
第5クール2013年8月17日靖国神社、遊就館、昭和館、第五福竜丸展示館の見学、講演
講師 西村 美幸 氏(日本平和委員会)
テーマ: 過去の歴史から学ぶ、加害と被害
第6クール2013年9月21日講演
講師 大久保 佐和子 氏(あかしあ法律事務所・弁護士)
テーマ: 憲法と私たちのくらし~9条と25条を中心に~
第7クール2013年10月10日~12日佐賀県・長崎県フィールドワーク
内容: 佐賀県玄海原発、長崎県の被爆者の語り、碑めぐりなど
第8クール2013年11月16日佐賀県・長崎県フィールドワークの振り返り
第9クール2013年12月21日卒業発表会に向けてのまとめと準備
第10クール2014年1月18日卒業発表、特別講演、卒業式
講師 木下 直子 氏(全日本民医連新聞部編集長)
テーマ: 民医連と平和 「民医連新聞」が報じてきた全国の仲間の姿から

ピキニ事件から60年
「第五福竜丸展示館」で
反核運動の原点を学ぼう!
~お昼はマグロカレー~
★初めての方でも安心★ わかりやすい解説があります。
行程:午前→第五福竜丸展示館、午後→葛西臨海水族園
対象:どなたでも参加できます。
日時:2月22日(土)午前9時15分
集合場所:新木場駅りんかい線改札前
参加者負担:700円(葛西臨海水族園入園料、大人)、食費、交通費
主催:代々木病院、代々木健康友の会、
勤医会千駄ヶ谷地域原水禁世界大会実行委員会
■参加希望者は連絡をください。
連絡先:代々木病院 組織広報室 石井
電話03(5411)9502

吉川彰人
(診療放射線技師)
「平和とは何か」
改めて考えることができた
これまでの関心をもっていなかった。
現在の日本は平和だと思いましたが、実際はいろいろな問題がありました。歴史的背景から続く日米安保条約と基地問題。
かつての僕と同じく平和に対してあまり関心を持っていない同年代の人へと伝え、平和学校を広めていく活動をしていきたいです。

デパートからのダイレクトメール。最近「初売り」よりも「フライイングセール」という言葉が目立った。混雑する初売りよりも年末にゆっくりお買い物...という趣旨だそう。早速ぶらりと出かけてみた。クリスマスは賑わいも終わり、洋服屋さんは確かにすいている。店内には「お客様へ」との表示。消費税率変更のため、値札の表示が変わりますとの案内だ。店員さんも、「一次の冬は消費税が8%ですから、今買った方が得ですよ」と笑顔で話しかけてくる。お正月の新聞記事では、アベノミクスで景気が回復し、貴金属やブランド物の高額の福袋から売れていくと書かれていた。一部の人が実感していない景気回復をお手柄のように主張し、少子高齢化社会を公平に支えようとする生活必需品の消費税率も上げるこの国。自助を強調した世の中では何でも自己責任と片付けられる。個人があらゆる状況を想定して「備え」をしておかなければならないのだ。このままでは社会保障不要論も出てきてもおかしくない。消費税増税がなければ日本の社会保障は本当に崩壊するのだろうか。(と)

千駄の萱
「初売り」よりも「フライイングセール」という言葉が目立った。混雑する初売りよりも年末にゆっくりお買い物...という趣旨だそう。早速ぶらりと出かけてみた。クリスマスは賑わいも終わり、洋服屋さんは確かにすいている。店内には「お客様へ」との表示。消費税率変更のため、値札の表示が変わりますとの案内だ。店員さんも、「一次の冬は消費税が8%ですから、今買った方が得ですよ」と笑顔で話しかけてくる。お正月の新聞記事では、アベノミクスで景気が回復し、貴金属やブランド物の高額の福袋から売れていくと書かれていた。一部の人が実感していない景気回復をお手柄のように主張し、少子高齢化社会を公平に支えようとする生活必需品の消費税率も上げるこの国。自助を強調した世の中では何でも自己責任と片付けられる。個人があらゆる状況を想定して「備え」をしておかなければならないのだ。このままでは社会保障不要論も出てきてもおかしくない。消費税増税がなければ日本の社会保障は本当に崩壊するのだろうか。(と)